

5. 新会計基準全般についての意見

記述形式で意見を求めた設問である。すでに新会計に移行している立場、まだ移行していない立場、それぞれの立場で意見が寄せられたが、会計基準の基本的な考え方や骨格について理解不足の面と、新たな計算関係書類にまだ馴染んでいなくて難しいと考えている面があるように見える。長年の間、措置費制度の中で経営感覚・経営意識をそれほど必要とすることなく、多くの保育所経営者が保育ひとすじに、一法人一施設の運営を行ってきたことを考えると当然かも知れない。

「経営する施設の種類」についての設問の回答結果をみても、およそ81%が保育所のみを経営していることが分かる。そのうちの多くは一法人一施設の保育所であると推測される。

また各地域で保育所を対象とした説明会や研修会が、参加者に十分理解できるような形で開かれているのか、あるいは開催されたとしても法人または保育所に周知されているのかどうか、一方で参加者の意識や認識が希薄で参加数が少ないのではないかという疑問も感じられる。

さらに会計基準の基本的な考え方である“法人単位の経営”“法人全体の経営状況の把握”“損益計算の考え方”“適切な資産の評価”といった点についての理解不足、認識不足も見えてくる。

全般的に見て新会計に肯定的な意見・認識は少なく、理解不足と認識不足から消極的あるいは否定的な内容が多かった。主な意見を整理してまとめてみると以下のような内容になる。

(i) 移行の必要性や移行期限への疑問

- ・一施設しかないのに何故移行しなければならないのか
- ・いつまでに移行したらいいのか、期限があるのか
- ・小規模の場合は必要ないと感じている
- ・移行したものの、その成果が何も見えない

(ii) 会計基準についての理解不足

- ・移行して2年目になるが、いまだによく分からない
- ・14年度に移行したが十分理解できなくて大変だと感じている
- ・移行のメリット、デメリットが分からない
- ・複雑だという先入観があり負担に感じる

(iii) 説明、指導の必要性

- ・移行処理が煩雑で思うように進捗しない
- ・移行についての説明や指導の機会が少ない
- ・保育所用の分かりやすい解説書が欲しい
- ・相談窓口が少ない
- ・行政側の理解度が低い

- ・会計や簿記の知識がなくて負担を感じる
- ・国からの通知の内容がよく分からない

(iv) 外部委託と費用の問題

- ・会計事務所等への委託費用の負担額がどのくらい分からない
- ・会計事務所が営利的である
- ・小規模経営のため費用負担が大きすぎる
- ・会計事務所等によって費用金額がかなり異なる

(v) 移行の効果

- ・社会福祉法人の経営努力が目に見える形で明らかにできる
- ・職員一人ひとりの努力が経営に反映できるため、職員も経営に参加しているという意識が高まる
- ・一般社会に社会福祉法人の事業内容を理解してもらえると感じる
- ・経理処理が明確になった

(vi) 要望

- ・一層の弾力化
- ・行政による実務指導
- ・事務の簡素化に取り組んでほしい

(太田嶋)